

# 町の交差点



## 内閣府 子どもと親、高齢者交通安全意識啓発 うつつあんぜん三世代交流事業

風が冷たく頬を刺す1月23日午前中、桂川町住民センターで内閣府と桂川町実行委員会が主催し、飯塚警察署やJAFの協力で、「うつつあんぜん三世代交流事業」が盛大に開催されました。この事業は、子どもと親、高齢者の三世代が集まり、イベントを通じて、みんなで交通事故の危険性を理解し交通事故防止のきっかけとすることを目的としたもので、この日は子ども107人、保護者・高齢者合わせて103人が参加して、みんなで交通安全について学びました。お巡りさんによる「明るい服装で夜間の交通事故防止」を訴える寸劇や衝突時のシートベルトの役割を実際に体験できるシートベルトコンビンサー、チャイルドシートの取り付け方講習会や警察車両の展示などが行われ、参加者は様々な体験をおとして、あらためて交通事故のない社会を目指す決意をしました。



◀時速5キロで衝突した想定でしたが、参加者はかなりの衝撃に改めてシートベルトの重要性を再認識しました。(シートベルトコンビンサー体験風景)

## 桂川町子ども会指導者連絡協議会主催 リンピック日本代表願負けのプレーが続出!

バレンタインデーの2月14日、桂川町子ども会指導者連絡協議会主催による“ドッチビー大会”が桂川東小学校体育館で行われました。当日は桂川小・東小合わせて42名の児童が参加し、大いに盛り上がりました。また今回は、バンクーバーオリンピックでも行われた氷上のチェスこと「カーリング」の室内版「カローリング」というスポーツも初めて行いました。低学年の子どもでも手軽にできるので、初めてする競技でしたが、的の中心にカローリングが止まると周りからも歓声があがり、みんな笑顔で楽しみました。



## 桂川東小アンビシャス広場出前講座「茶道」 よっぴり苦くも楽しかった茶道体験

2月5日、桂川東小学校の和室には、神妙な面持ちで静かに正座した6年生の子どもたちの姿がありました。これは、茶道の作法を学ぶと同時に、小学校でのよき思いでづくりにと桂川東小アンビシャス広場が行ったもので、講師の穂坂佐代子さん(土師二)にお茶の楽しみ方を習って、思い思いに一服を楽しみました。最後の一礼が終わると「足がしびれたー!でも美味しかったー!」と苦笑いしている子もいました。